



原点 に立って、 未来 へステップ

■ 第19回 東日本区大会 特集号

2015-2016 年度
東日本区理事通信
第 13 号
2016年6月30日発行

「ワイズにひかれ善光寺～原点に立ち未来の扉を開こう～」をテーマに、今年度の東日本区大会が、6月4日(土)、5日(日)の二日間に亘り、長野市若里市民文化ホールを主会場に開催されました。ホストクラブは長野クラブ、協カクラブとして甲府、松本、甲府21、富士五湖、信越妙高の各クラブ、後援は長野市、長野市教育委員会、(公財)ながの観光コンベンションビューローでした。

大会参加者は、412人(メン:354人、メネット:45人、コメント:1人、ユース:7人、会友:5人)でした。

〈前日・6月3日〉

▼ 東日本区理事杯争奪ゴルフコンペ

大会前日の6月3日(金)、長野市上ヶ屋の長野カントリークラブにおいて、9クラブ15名の参加により理事杯争奪ゴルフコンペが開催されました。長野市内から車で30分、標高1,120m、飯綱高原のなだらかな丘陵地に樹齢60年のカラマツ林と白樺、松の豊かな林に囲まれたチャンピオンコースです。絶好のゴルフ日和に恵まれ和気藹々の中にも真剣にプレーに取り組みました。優勝は北見クラブの古賀勝己さんでした。



▼ 第4回東日本区役員会

今年度最後となる第4回役員会が、善光寺・玄証院において午後3時から開催されました。

議案内容については、理事通信12号(6月10日発行)をご覧ください。

▼ 前夜祭

午後7時から、善光寺に近い西之門町の造り酒屋よしのや内の「レストランさくら」において前夜祭が開催されました。エドワード・オンアジア地域会長夫妻、遠藤通寛西日本区理事夫妻をはじめ、当日開催されたゴルフ組も含め、66人の参加がありました。

料理研究家・土井善晴氏監修の季節料理に舌鼓を打ちながら、久しぶりの再会に喜び、お互いの近況を語り合い、長野の夜を楽しみました。

なお、ゴルフコンペの表彰式もあり、各賞発表に会場も沸きました。

〈一日目・6月4日〉

▼ 年次代議員会

6月4日(土)、若里市民文化ホール会議室において開催されました。詳細は理事通信12号(6月10日発行)をご覧ください。

▼ ユースの会 ユース事業主任 浅羽俊一郎

ユースの会は、今夏IYCへ参加のユース5名(永坂、内海、須郷、佐宗、末永)、ユースアドバイザーから1名(藤永)、ワイズメンズクラブからは13名に参加いただきました。内容は、3～5人のグループに分かれ、各グループにユースが入り、3つのテーマに合わせてユースとワイズでディスカッションを行いました。



今回の区大会では、IYCに参加するユースのオリエンテーションも兼ねておりプログラムは大まかにユースアワー、IYCオリエンテーション、大会傍聴、晩餐会と盛り沢山で、YMCAやワイズについての基礎知識を理解することに加えて、ワイズの区大会を通して直にその拡がりを感じてもらおう、というものでした。学校の授業の関係でユースアワーには不参加でしたが東京サンライズ推薦の小林君(長野クラブコメント)が団長、副団長に末永さん、大会中のカメラ係に佐宗さん、報告書のとりまとめに須郷君、永坂君、カルチュラルナイトリーダーに内海君が決まりました。

二日目の特別セッションには日本YMCA同盟総主事の島田さんによるYMCA運動の始まりや、YMCA精神のあり方についてのお話があり、またフリーセッションではピーターさん(甲府)による英語でのセッションのアドバイスがありました。

▼メネットアワー メネット委員会書記 加藤真子(仙台青葉城)

ワイズメネットアワーは、西日本区より遠藤通寛理事、並びに遠藤典子メネット事業主任、また「メネットのねがい」の作詞者・今井利子さん(大阪なかのしま)3名を含め、計35名の出席で開催いたしました。

■開会

来賓挨拶で、島田総主事より「絵本を贈る運動」はこれからもぜひ継続して欲しい、と激励と感謝の言葉をいただき、メネット委員長から今年度の目録を贈呈。その後、利根川委員長が代議員会出席のため退席となるため、先にメネット委員長の引継ぎ式を行い、利根川委員長から相磯優子次期委員長に聖書を手渡しました。

■2015-16年度 事業報告

(1)メネット事業報告 11/28開催のメネットのつどい、メネット献金(31クラブより 計444,000円)報告。その他、定款・メネット委員会規則の見直しについては、次期相磯委員長にバトンを渡すことに。

(2)メネット献金の集計報告 絵本を贈る活動:199,000円、国内大震災支援:131,000円、国際プロジェクト:114,000円

(3)メネットの集い会計報告

(4)昨年度東日本大震災復興支援金の使途報告(①「東北ヘルプ」60,432円②盛岡YMCA宮古ボランティアセンター60,000円 ③リーダーズアクト・被災地小学生サッカー交流 60,000円 ④3a郡山へ 34,998円 (5)今年度復興支援金寄託金授与 もりおかクラブ井上優子メネットへ贈呈

■昼食会&お楽しみ講演

スピーカー:伊藤羊子さん(長野県文化振興事業団学芸員) 演題:「生み出された『幸村』のイメージ」

NHK大河ドラマ「真田丸」で脚光を浴びている真田幸村については、市井の人々の“ねがい”がイメージを作る、という伊藤氏の解釈を映像を使い、分かりやすく、また初めて聞く内容で大変面白く聞かせていただいた。

その後、熊本地震支援への募金23,717円を西日本区メネット事業主任の遠藤典子さんへ贈呈。最後に「メネットのねがい」を作詞者の今井利子さんにリードをお願いし、全員で合唱。

■閉会 その後、全員で記念撮影

▼担当主事会

詳細は理事通信12号(6月10日発行)をご覧ください。



長野オリンピック時 IOC 会議が開かれた会議室

▼オープニングセレモニー

オープニングは、昨年40周年を迎えた長野少年少女合唱団のこどもたち12人により、長野ゆかりの作詞・作曲家の作品「緑のそよ風」「夕焼け小焼け」「おぼろ月夜」などの合唱で歓迎。

▼バナーセレモニー

部長を先頭に各クラブバナーが部毎に入場、アーチ状に迫り出したステージフロントの階段に勢揃いしました。一週間前にチャーターしたばかりの石巻広域クラブの時は、大きな拍手がわき上がりました。



▼ 開会式

渡辺隆理事の開会宣言と点鐘、全員でワイズソング、ワイズの信条を唱和し、聖書朗読と開会の祈祷を長野クラブ・塩入隆会員が務めた後、歓迎の言葉の中で長野クラブ・塚田佐会員(長野オリンピック当時の市長)が、オリンピック時このホールが世界へ向けての情報発信の場所であったエピソードを紹介し、未来への扉を開く大会にしようと呼びかけました。



[エドワード・アジア会長]

続いて、この日全国植樹祭と重なったため出席できなかった加藤久雄・長野市長の代理として、樋口博副市長、島田茂・日本YMCA同盟総主事、エドワード・オン・アジアエリア会長、遠藤通寛・西日本区理事から、それぞれ祝辞を頂戴しました。

メモリアルアワーでは13人のメン・メネット物故者を偲びました。

▼ 東日本区アワー I

渡辺理事の挨拶と年次報告、仙洞田安宏書記の年次代議員会報告に続き、7部の部長とメネット委員長の報告に移りました。

部長報告は、今年度の理事方針である「部の強化・活性化」を受けて、部長としての活動、部の活動を中心に報告され、各クラブの活動報告は、印刷物としてまとめられ、参加者に配布されました。

そして、4月14日に発生した熊本地震の被害と、支援活動を展開している熊本YMCA、ワイズの現況を、西日本区次期理事の岩本悟さん(熊本にし)から報告をいただきました。

▼ 休憩 ～ロビーでは～

ロビーでは、各クラブのファンド事業を支える物品販売ブースが設けられた他、地域奉仕事業委員会主催の「CS写真コンテスト」の応募作品が展示され、投票も行われました。

また、熊本地震支援募金箱が設置され、募金の呼びかけがありました。



▼ 長野プレゼンツ～ワイズにひかれ善光寺

今大会のキャッチフレーズ「ワイズにひかれ善光寺」を如何に表現しようかと、長野クラブの皆さんが知恵を絞った「長野プレゼンツ」。まず長野クラブ会員で善光寺玄証院住職・福島貴和さんの仲間による天台声明。



10人の僧が散華(さんげ)をしながら入場、澄み切った歌声が会場を包み込みました。続いては、長野郷土史研究会・小林玲子、竜太郎さん親子による、善光寺参りの「絵解き口演」。本来は掛軸を掲げての口演ですが、今大会用のバージョンでスクリーンに映し出す手法で6話を演じられました。

最後は、アマチュアバンド「夢」による演奏で、信州ゆかりの童謡・唱歌を皆で歌いました。「どこかで春が」や「汽車ポッポ」を作曲した草川信や、「故郷」(兎追いかの山)の作詞者高野辰之は長野県出身です。いずれも長野の歴史、文化に触れた好演出でした。

▼ 晩餐会

会場をホテルメルパルクNAGANOに移しての晩餐会は、冒頭長野市無形文化財の善光寺木遣りのパフォーマンス。石巻広域クラブのメンバー紹介の後、福島会員による仏教の作法による「食前感謝」、利根川次期理事の乾杯の音頭で開宴となりました。

名物の信州蕎麦や山菜の天ぷらなど郷土料理を肴に、懇親を深めました。

来年の東西両区大会

(川越と熊本)、今夏のIYC参加ユースによる熊本地震募金などのアピールがあり、露木淳司・山梨YMCA総主事の一本締めでお開きとなりました。



▼ フェローシップアワー

100名近い登録があったフェローシップは2部屋に分かれて行われました。神戸ポートの大野勉さんと音楽仲間で長野在住の岡村和夫さん、中村洋一さんによるフォークソング、それに京都パレスの川上孝司さんのバンジョーも加わり、楽しい交流の場となりました。

〈二日目・6月5日〉

▼ 早朝散歩

午前6時、長野クラブ会員・丁胤植さん(長野聖救主教
会牧師)が善光寺大門の交差点で出迎え、福島住職が
待つ善光寺へ。「お数珠頂戴」の朝事を体験しました。
参加者は15人でした。

▼ 聖日礼拝

8時45分から、若里市民文化ホールにて、長野クラ
ブ・丁胤植牧師の司式で執り行われました。「西遊記か
ら感じたキリスト教の教え」と題した奨励がありました。

礼拝献金は101,760円、これを東日本大震災と熊本
地震支援に等分して捧げられました。

▼ 東日本区アワーⅡ

4事業主任の事業報告があった後、表彰式へ。各事業
の表彰と理事表彰が発表されました。今年度の東日本
区奈良傳賞には堀口正作さん(伊東)が、最優秀クラブ
賞には伊東クラブが選ばれました。

続いて、理事、役員引継式が渡辺喜代美元東日本
区理事(十勝)の司会で進められました。

青木一芳元国際会長
(千葉)の司式により、利
根川恵子新理事の就任
式が執り行われ、新理
事が力強く宣誓しまし
た。引き続き、渡辺理事
から利根川新理事へ理
事バッジとメダリオンが
装着されました。その
後、役員バッジ引き継
ぎとリジョン旗、ホーム
クラブ旗の引き継ぎが行
われ、20代利根川理事の所信表明が行われました。



▼ 閉会式

閉会式では、礼拝献金と熊本支援募金が、島田総主
事に贈呈され、島田総主事から渡辺理事に感謝状が
贈られました。大会旗が次期川越大会・松川厚子委員
長に引き継がれ、森本委員長から感謝と御礼の挨拶が
ありました。最後にYMCAの歌を歌い、渡辺理事の閉会
の点鐘で第19回東日本区大会の幕が降りました。



▼ エクスカーション

エクスカーションは以下の3コースが実施されました。

Aコース:神話とそばの里=癒しの参道/戸隠参拝の旅
参加者43人

Bコース:真田大博覧会と真田丸ドラマ館大河ドラマ巡り
参加者19人

Cコース:国宝善光寺と宿坊で精進料理を味わい、表参
道散策、参加者41人

▼ 大会を終えて 大会実行委員長・森本俊子

長野のメンバーにとっては、一部の人を除いて区大
会というのはどんな大会か、ホストクラブはどんな仕事
をするのか、そうしたこともよくわからないまま本番を迎
えた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。一方にお
いて、参加される方たちの多くは区大会の内容がしっ
かりと頭に刷り込まれている方たち、という構図で行わ
れた大会でした。おかげで全員参加で、しかも甲府ク
ラブの方たちには、やきもきを超えて、すっかり実働部
隊に入っただけで済みました。そのおかげでなん
と“あまもつくり”した長野らしい大会に仕上がったこと
でしょう。(ぬくもりのある、という意味)

この一年の活動は、区大会のホストとして一丸となっ
て過ごしてきました。実行委員会における仕事の分担
も、結果的にみると長野クラブの一人一人の力量が発
揮され、大成功に導いたと思います。

渡辺理事の強い意向で、長野らしさのあふれる大会
にしようと、キャッチフレーズも「ワイズにひかれ 善光
寺」とし、折から行われていた御開帳の影響もあり、「原
点に立ち未来の扉を開こう」という大会主題も生み出さ
れました。結果としてその意向に沿った、持てる力を甲
府の皆さんに引き出していただいで成功した大会にな
りました。

会員全員にできるだけ手作り感あふれる案内を届け
ようと特別の切手を貼って発送した案内が、届かないと
いうとんでもないアクシデントがありましたが、区の事務
所や、SNSの普及、ワイズメン独特の温かいフォロー
に助けられ、最終的には目標の400人を超える参加者
を確保できました。改めて感謝申し上げます。

アピールのために、厚木、大阪、仙台、横浜、伊東、
東京、評議会、研修会に行かせていただきましたおかげ
で、ずいぶんワイズメンズクラブの活動が分かってき
ました。他クラブの方たちとの交流も生まれました。若
里や市役所、コンベンションビューローへは何十回も
行き、印刷屋、舞台技術会社にもかなり行きました。そ
の結果が今回の結果です。

看護師さんに常駐していただいで安心したのか、大
きな病人けが人が出なくて助かりました。

大会大会とそればかりにかけた今期のクラブ活動の大
きな収穫を心にとめて来期に向かいたいと思います。